

ともに暮らす、地域の中で

二月十日、十三日、十五日の三日間、八田小学校の児童と特養いきいき八田、いきいき八田デイサービスの入所者、利用者様との交流会が、Webを活用して行われました。絵尻取り、ナゾナゾ、ビンゴゲーム、ジェスチャーゲームなど子どもたちと楽しいひと時を過ごしました。

長引く新型コロナ禍で地域との交流もままならない中ですが、スクリーンを通しての子どもたちとのふれあいで、日頃とは違った笑顔をうかがうことができました。

今年も地域のカフェの活動や各種地域行事等も予定されています。

引き続き、地域との交流を深め、地域に根差した施設づくりをすすめていきたいと思えます。



節分の豆まきで無病息災を願う

二月三日は節分でした。「節分」は文字通り「季節を分ける日」「季節の分かれ目」のことです。この時期に邪気が入りやすいと考えられており、さまざまな邪気払い行事が行われており、「豆まき」もそのひとつです。

八田特養では職員が鬼に扮し、豆まきを行いました。入所者様も笑顔で鬼に豆代わりの新聞紙ボールを投げられました。



新型コロナウイルス引き下げに関する新聞報道

一月二一日の読売新聞に、当施設も取材を受けた新型コロナウイルス感染の五類への引き下げに関する記事が掲載されました。今後、これまでの規制が緩和されていくことになると思いますが、ちどり福祉会では感染防止の観点から連携病院と情報共有を図りながら、対応をすすめてまいりたいと思えます。ご負担をおかけしていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



シリーズ『介護保険制度をめぐる動き』第2回

昨年12月20日、2024年4月の介護保険制度改正に向けて議論をすすめてきた国の審議会が「見直しに関する意見」をとりまとめました。その中で「2割負担の対象者の拡大」「高所得者の介護保険料引き上げ」について、実施する方向で今年の夏までに結論を出す、とされました。現在1割負担でサービスをご利用いただいている方のうち、一定以上所得の方の自己負担が2割(2倍)となる可能性があります。

2024年4月の改正では「要介護1・2の人が利用するヘルパーやデイサービスを市町村事業に変更」「介護サービスを利用するためのケアプラン作成にも料金負担が発生」などについては見送られました。しかし、次の2027年4月の改正にむけて【引き続き検討する】となっています。さらに「センサーなどの機械の導入を条件に施設の介護職員の人数を減らす」ことも前提に議論がすすんでおり、利用者の皆様や介護サービス事業者の安全・安心をおびやかす内容です。

制度の動向を注視し、本誌をお読みの皆様に今後も実態をお知らせしていきます。

